

## 課題解決型職場体験（2年生）

10月1日（木）、2日（金）の2日間、2年生が11箇所の事業所を訪れ、課題解決型職場体験に挑戦しました。それぞれに与えられたミッションを協力しながら解決する姿が立派でした。



近藤組



大浦の里



あいかわ幼稚園



越前水産



伊藤建設



きらりうむ佐渡



ホテル万長



さわた図書館



相川保育園



地域振興局



洋服の青山



## 朱鷺ビオトープづくり体験学習（1年生）

10月2日（金）、1年生はトキ交流会館やトキの森公園を訪れ、トキについて学習をしました。午後はビオトープづくりを体験してきました。野生のトキがえさにしている、カエルやイモリなどを見付けることができました。



トキの森公園



ビオトープづくり

## レクリエーション大会（3年生）

10月14日（水）、3年生はみんなで考えたレクリエーション大会をしました。協力してホットケーキを作りました。その後、教室で映画鑑賞をしたり、体育館でレクリエーションをしたりしました。新型コロナウイルスの影響で修学旅行が中止となり、残念だった3年生。この後も何回かお楽しみ行事を計画しているそうです。



レクリエーション



映画鑑賞

※カラーの写真が見たい方は「相川中学校ホームページ」をご覧ください。

## 栄光の記録

### ○税についての作文コンクール

全佐渡納税貯蓄組合連合会優秀賞 3年 山本 陸斗

### ○佐渡市中学校読書感想文コンクール

二席 「スタートラインを目指して」 2年 三浦 綾女

### ○下越地区中学校駅伝競走大会（10/7 五十公野公園陸上競技場周辺コース）

男子 第14位 相川中 1時間04分50秒

（山下樟悟、宮崎航希、山本閃之介、石倉楓太、山田翔大、和田信之介）

女子 第13位 相川中 56分12秒

（森川葵、大久保那奈、堀部帆夏、三浦綾女、岩部伊吹）

### ○相川駅伝大会（10/10 栄町～戸地）

男女ともに優勝

### ○第30回佐渡市中学校野球新人戦大会（10/10,11 畑野球場）

1回戦 相川中7-0金井中（5回コールド）

準決勝 相川中1-0赤泊中

決勝 相川中1-8佐和田中（5回コールド） 準優勝

## 11月の主な予定

- 1日（日） 相川中学校文化祭（午前程）
- 2日（月） 文化祭の振替週休日
- 3日（火） 文化の日 佐渡市中学校バレーボール1・2年生大会
- 4日（水） 3年実力テスト
- 7日（土） 野球朱鷺カップ大会 県新人バスケ佐渡地区予選
- 8日（日） 野球朱鷺カップ大会 県新人バスケ佐渡地区予選  
下越地区新人卓球大会（個人戦） 女子ロードレース大会
- 9日（月） 全校朝会
- 11日（水） 専門委員会
- 12日（木） いじめ見逃しゼロスクール集会 テスト前部活動中止（～19日）
- 13日（金） 数学検定 職場体験発表会（2年）
- 16日（月） オープンスクール質問教室 進路説明会（3年）
- 17日（火） 質問教室 保育実習（3年）
- 18日（水） 質問教室
- 19・20日 期末テスト
- 23日（月） 勤労感謝の日
- 27日（金） 職場訪問（1年）
- 28・29日 バスケット強化練習会



  TEL 74-2157 mail aikawa-js@sado.ed.jp	佐渡市立相川中学校 生徒数 1年23名 2年35名 3年32名 計90名 令和2年10月29日発行
	教育目標 ともに支え ともに生きる ～仲間とともに地域とともに～

## 野球には神様がいる

生徒指導主事 相澤 文哉

「スポーツの秋」と呼ばれるように、秋はスポーツをするのに最適な季節です。夏のように暑すぎず、冬のように寒すぎず、力いっぱいスポーツができます。

当校でも、3年生が部活動を引退し、1・2年生主体の新チームが始動して2ヶ月が過ぎました。各部で新人戦が始まり、夏休みからの練習の成果を発揮する機会となります。野球部が他の部活動の先陣をきり、10月10、11日に行われた新人戦では、見事準優勝という結果をもたらしてくれました。他の部活動も野球部の結果が刺激となり、新人戦で良い結果を出すために毎日一生懸命に練習をしています。

私も、高校生まで野球をやっていました。そのときに聞いた言葉、「野球には神様がいます」です。野球に関わらず、スポーツや勉強など、みなさんは「神様」がいますか？私は、「神様」がいますと信じています。なぜ、そう思うかということ、奇跡に近いことを多く経験したことがあったからです。でも、奇跡って偶然に起きるのではなく、必然に起きると私は思っています。奇跡ってどのようにして起こるのか？多くのスポーツ選手が言っていますが、それは「努力をする人に奇跡が起こる」です。試合に負けている終盤に、自分にチャンスが回ってきました。みなさんだったら、そのような状況で何を考えますか？私だったら、「なんで、自分なんだよ？」「もう無理だよ。」などネガティブなことを考えてしまいます。でも、そのような状況で、笑顔で自信をもって堂々とプレーをする人がいます。なぜ、そのような状況でそのようなプレーができるのか？やはりそれは、日常から自分自身を追い込んで追い込んで、想像もつかない努力をしているからではないでしょうか。現在、メジャーリーグで活躍している菊池雄星投手も高校時代に並々ならぬ努力をしていました。その中で有名な話が、高校入学時から3年間続けたこと。それは、トイレ掃除です。トイレ掃除といっても、素手で便器を触る過酷な作業です。なぜ、菊池投手はそのような修行のようなことをしていたか。それは、「ピッチャーのマウンドというのは楽しいことばかりではない。トイレ掃除など、嫌なことから逃げないでやることがマウンド上の態度につながってくる。トイレ掃除は、選手の精神的に成長させる。」という理由です。

奇跡を起こすために、嫌なことも辛いことも努力をするのです。今、嫌なことや辛いことを少し遠ざけている君。今ならまだ間に合います。頑張るときはいつも今です！

みなさんは、「○○の神様」はいますか？